

広島市植物公園 見どころ案内

2023年7月10日
通巻第589号



展示会のご案内

- ◇展示資料館 (6/17~9/18)
**特別企画展「牧野富太郎と広島」
+体験コーナー**
- ◇展示温室 (6/24~7/17)
アリ植物とカラフルリーフ展
- ◇大テント前、
スイレン温室など (7/8~9/24)
盛夏のスイレン展

ツルビランジ (ナデシコ科)

群馬県妙義山の崖地に自生し、1m以上のつる状になって垂れ下がることもあります。

トキワススキ (イネ科)

ススキに似るが、花期が7月で、草丈もより大きくなる南方系の植物です。

アリノスダマ (アカネ科)

東南アジア原産。塊茎にアリを住ませるので「アリの巣玉」。葉の基部に小さな白い花を咲かせます。展示温室は17日まで。大温室は常設。

野生ラン (ラン科)

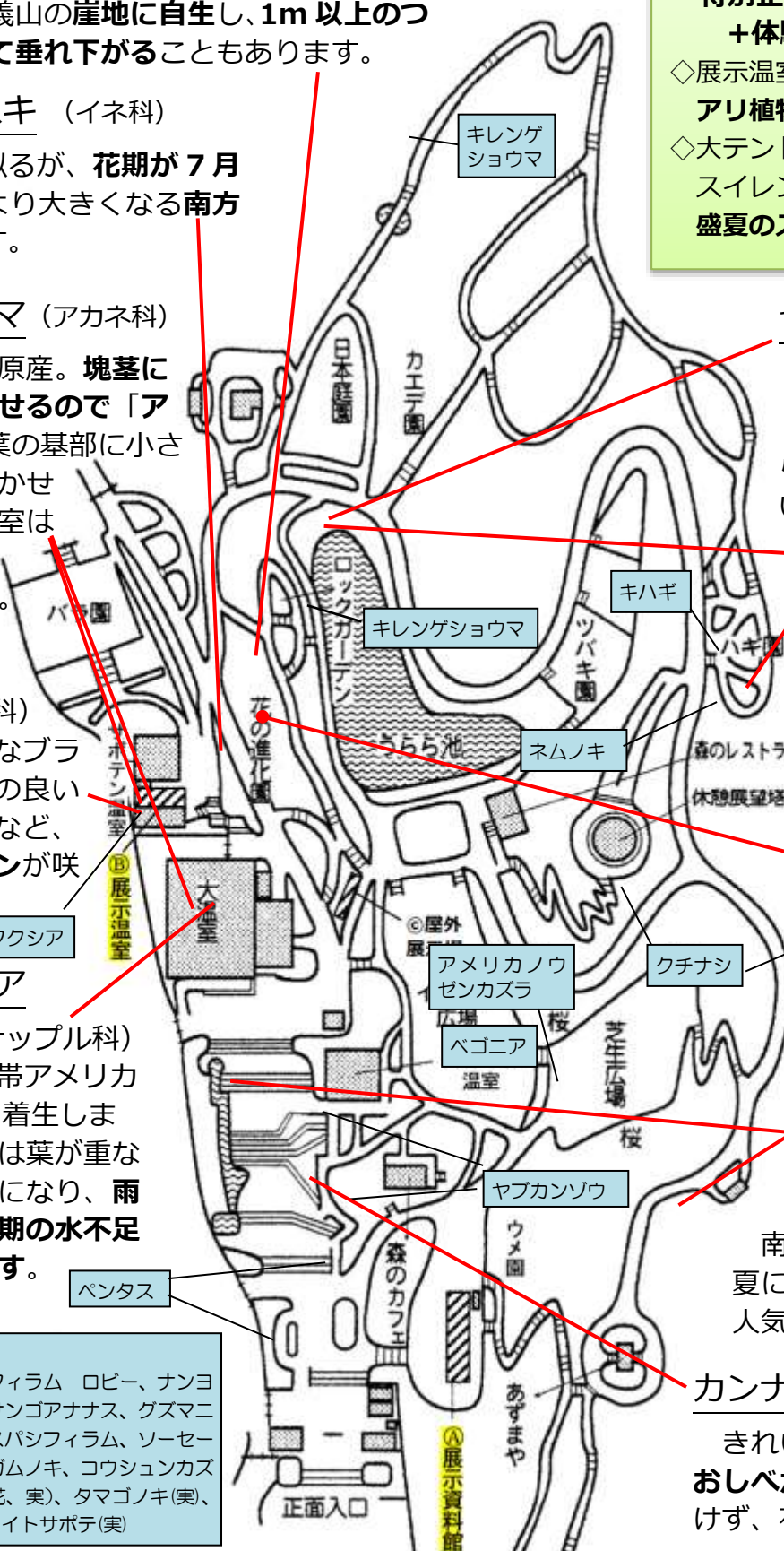
クモのようなブラッシア、香りの良いエンキクリアなど、珍しい野生ランが咲いています。

ネオレゲリア (パイナップル科)

熱帯~亜熱帯アメリカ原産で、木に着生します。株の中心は葉が重なってコップ状になり、雨水を溜めて乾期の水不足に備えています。

★大温室で見頃の花

ハマオモト、バルボフィラム ロビー、ナンヨウザクラ、カカオ、サンゴアナナス、グズマニア、アンズリウム、スパシフィラム、ソーセイシノキ、チューインガムノキ、コウシュンカスラ、コーヒーノキ(花、実)、タマゴノキ(実)、バナナ(花、実)、ホワイトサボテ(実)



ヤブカンゾウ (ワスレグサ科)

食用、薬用の目的で中国から伝来したものとされています。

カワラナデシコ (ナデシコ科)

秋の七草の一つ。広島県では河原ではあまり見かけず、山地の草原に生えているようです。

セイヨウニンジンボク (シソ科)

地中海地方原産のハーブで、枝葉や果実からさわやかな香りがします。

アガパンサス (ヒガンバナ科)

南アフリカ原産の多年草。初夏に咲く青紫の花は涼やかで、人気の園芸植物です。

カンナ (カンナ科)

きれいな花びらに見えるのは、おしべが変化したもの。暑さに負けず、花を咲かせてくれます。

❀ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❀
❀ 7/25 午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ❀